

第2回 鶴岡市行財政改革推進委員会

令和2年10月30日(金)午前10時00分
市役所別棟2号館21号会議室

次 第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 協 議

(1)日帰り温泉施設の在り方について

(2) その他

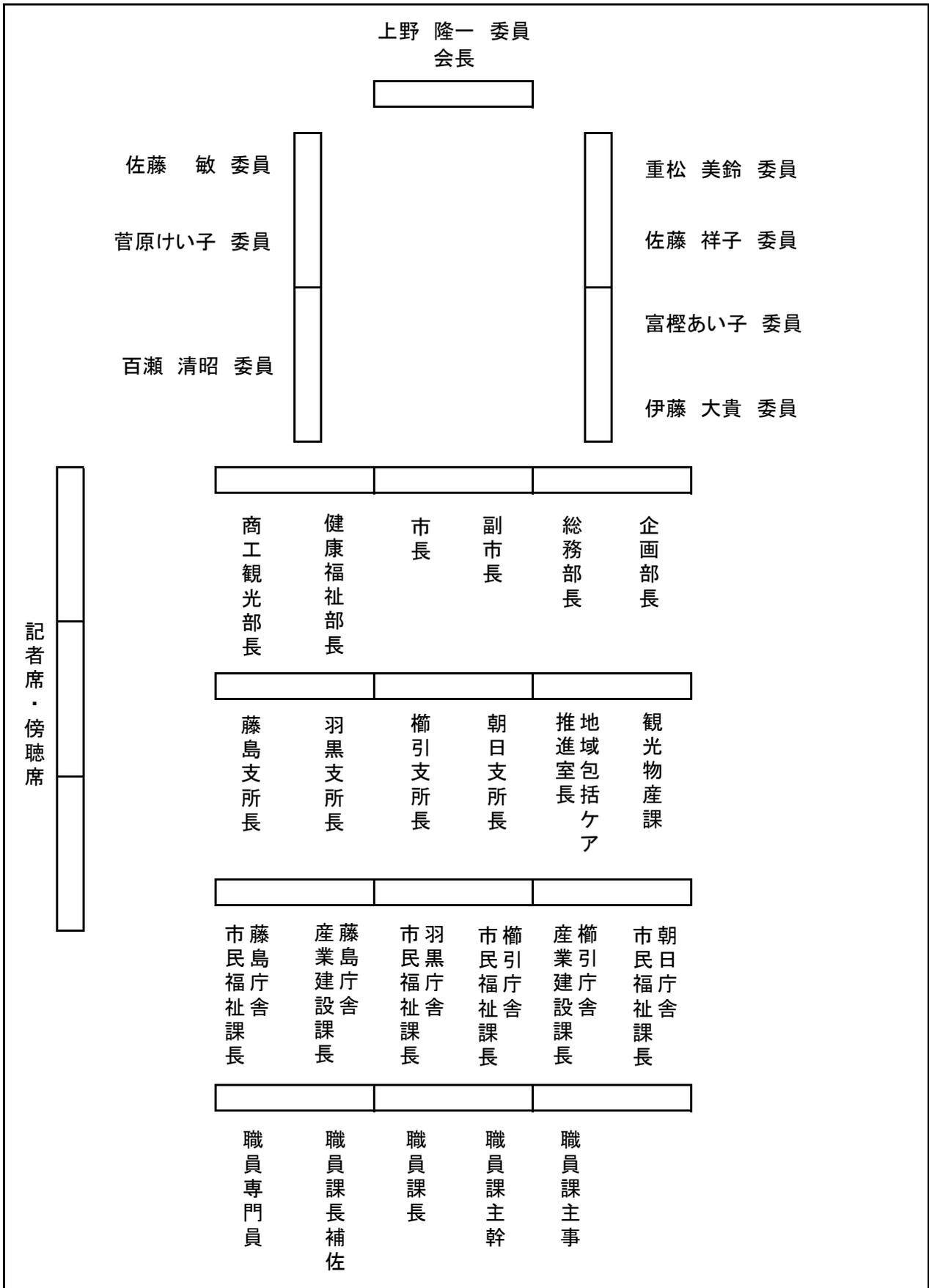
5 閉 会

鶴岡市行財政改革推進委員会

委員名簿

(順不同、敬称略)

氏名	所属等	備考
上野 隆一	(株)ウエノ代表取締役社長、出羽商工会会長	
佐藤 敏	元朝日庁舎支所長	
佐藤 静夫	温海地域自治会長会会長	欠席
佐藤 正一	公認会計士	欠席
渋谷 広之	連合山形鶴岡田川地域協議会事務局長	欠席
菅原けい子	第3民生区民生児童委員協議会会長 鶴岡市民生児童委員協議会連合会理事	
中村 哲也	建設会社勤務、元鶴岡まちづくり塾	欠席
玉村 雅敏	慶應義塾大学総合政策学部教授	欠席
百瀬 清昭	羽黒地域振興懇談会会長	
重松 美鈴	農業、農業委員会委員	
加藤 静香	法律事務所弁護士	欠席
佐藤 祥子	加茂地区自治振興会事務局長	
富樫あい子	自営業	
伊藤 大貴	自営業	



I. 日帰り温泉施設のこれまでの経過について

【これまでの経過（第3セクターの経営状況の経過）】

(1) ぽっぽの湯（ふじの里振興株式会社）

- ・H30年度から温泉部門の赤字拡大（利用者の減少：前年比14千人減、燃料費の激増：H27年度比1.7倍（直近3年の平均燃料費約13,300千円））
- ・食堂・宴会部門の恒常的赤字（直近3年の平均損益967千円）

(2) くしびき温泉ゆ～Town（くしびきふるさと振興公社）

- ・H29年度にH22年度以来7期ぶりに赤字に転じ、以降赤字が拡大（利用者の減少：29年比14千人、H30年度ポンプ落下事故により3ヶ月休止、R元年度についても顧客が戻りきらず）
- ・食堂・宴会部門のH30年度及びR元年度での大きな赤字（2カ年平均約3,000千円）
- ・H27年度までは燃料費かかり増し分管理委託料7,000千円、以降減額したもののR元年度6,500千円

※両施設とも新型コロナウイルス感染症による1ヶ月休業、その後の利用人数制限による影響で急速に経営悪化

⇒ このままでは経営継続できない状況

【地元からの存続の声】

(1) ぽっぽの湯

- ・長沼地区自治振興会及び町内会長会より、市長等に対し施設支援の要請（R2年8月）

(2) くしびき温泉ゆ～Town

- ・櫛引地域振興懇談会では委員全員より施設存続を求める発言（R2年9月）

現経営体である第3セクターの概要

長沼温泉 ぽっぽの湯

- ふじの里振興株式会社
- 鶴岡市長沼字宮前266-1
- 設立年月日 平成11年7月1日
- 資本金 2,000万円(400株)
【内訳】 鶴岡市 1,500万円(300)
JA庄内たがわ 200万円(40)
出羽商工会 100万円(20)
温泉振興会(個人24名) 200万円(40)
- 役員 代表取締役 鶴岡市副市長
取締役 JA理事
商工会理事
温泉振興会長
産直組合長
藤島庁舎支所長
監査役 商工会事務局長
JA監事
- 指定管理開始年月日 平成18年4月1日

くしびき温泉 ゆ〜Town

- 株式会社くしびきふるさと振興公社
- 鶴岡市三千刈字清和159番地
- 設立年月日 平成3年9月2日
- 資本金 1,700万円(340株)
【内訳】 鶴岡市 1,500万円(300)
JA庄内たがわ 150万円(30)
出羽商工会 50万円(10)
- 役員 代表取締役 鶴岡市副市長
取締役 JA理事
商工会理事
櫛引庁舎支所長
監査役 社会福祉法人
櫛引福寿会理事長等
- 指定管理開始年月日 平成18年4月1日

くしびき温泉ゆ～Town 運営実績推移(H27-R1)

R2.10.30資料

R2.10.28作成

A: 利用者数 (人)

	H27	H28	H29	H30	R1
施設利用者数(入浴者数)	138,477	139,420	137,431	91,437	122,874

B: 収支 (円)

		H27	H28	H29	H30	R1
収入	市委託料	7,000,000	6,720,000	5,400,000	4,320,000	6,500,000
	入浴料等	42,820,749	42,834,782	41,206,548	28,580,975	39,924,364
	その他	45,724,430	45,220,583	48,195,805	28,360,615	32,337,453
	合計	95,545,179	94,775,365	94,802,353	61,261,590	78,761,817
支出	人件費	31,215,886	33,553,226	34,946,312	29,406,030	33,042,166
	燃料費(灯油)	5,645,481	5,914,257	7,857,338	5,926,354	5,404,682
	光熱水費	14,145,275	13,435,535	14,306,193	11,747,597	11,340,257
	修繕費	2,341,569	4,146,988	2,216,930	2,172,792	2,288,478
	諸費・その他	40,686,704	37,132,091	36,745,811	22,979,901	27,865,522
	合計	94,034,915	94,182,097	96,072,584	72,232,674	79,941,105
	収入-支出	1,510,264	593,268	-1,270,231	-10,971,084	-1,179,288

C: 入湯税(市へ納付) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
入湯税納付額	10,090,000	10,177,000	10,033,000	7,510,000	8,996,000

D: 入浴料等(市へ納付) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
入浴料等納付額	0	0	0	0	0

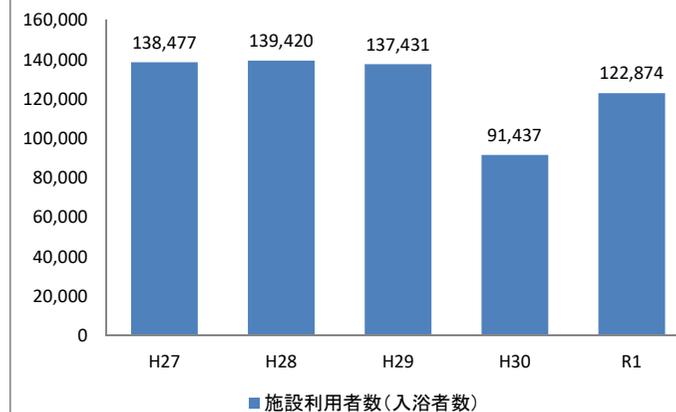
E: 市直接支出額 (円)

市支出		H27	H28	H29	H30	R1
管理運営委託料		7,000,000	6,720,000	5,400,000	4,320,000	6,500,000
施設保守管理費		2,648,000	2,765,000	2,312,000	1,490,000	2,021,000
工事費・修繕料		810,000	700,000	5,638,000	8,326,000	9,590,000
工事関係委託費				599,000		
備品費						11,220,000
計		10,458,000	10,185,000	13,949,000	14,136,000	29,331,000

F: 市実質負担額(E-C-D) (円)

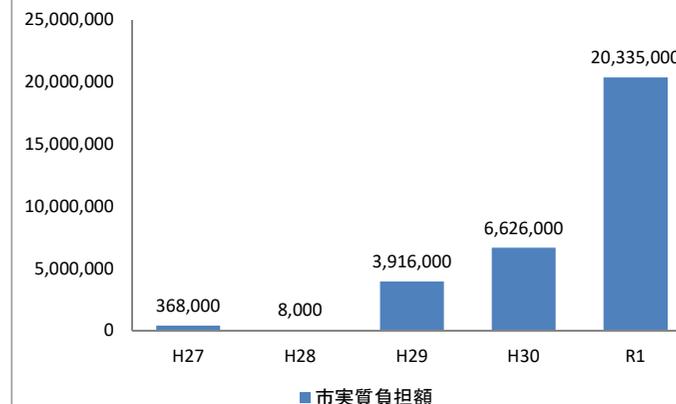
	H27	H28	H29	H30	R1
市実質負担額	368,000	8,000	3,916,000	6,626,000	20,335,000

施設利用者数(入浴者数)



■ 施設利用者数(入浴者数)

市実質負担額



■ 市実質負担額

長沼温泉ほっほの湯 運営実績推移(H27-R1)

R2.10.30資料

R2.10.28作成

A:利用者数 (人)

	H27	H28	H29	H30	R1
施設利用者数(入浴者数)	204,187	201,038	200,213	194,952	180,544

B:収支 (円)

		H27	H28	H29	H30	R1
収入	市委託料	400,000	400,000	400,000	0	0
	入浴料等	59,084,541	58,339,893	58,716,915	57,672,152	53,749,609
	その他	67,690,250	65,558,846	61,114,856	56,971,307	54,494,044
	合計	127,174,791	124,298,739	120,231,771	114,643,459	108,243,653
支出	人件費	32,144,901	31,481,604	29,993,654	30,501,412	30,287,957
	燃料費(灯油)	8,637,181	9,004,584	11,329,053	13,620,248	14,690,304
	光熱水費	15,940,921	14,801,322	15,928,005	15,772,806	15,256,217
	修繕費	1,854,915	2,587,736	2,370,512	680,030	1,952,751
	諸費	12,843,212	12,394,146	11,186,356	10,673,216	12,075,756
	その他	54,966,799	51,759,822	48,517,578	45,358,820	42,156,255
合計	126,387,929	122,029,214	119,325,158	116,606,532	116,419,240	
収入-支出	786,862	2,269,525	906,613	-1,963,073	-8,175,587	

C:入湯税(市へ納付) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
入湯税納付額	14,798,550	14,602,200	14,567,700	14,222,925	13,163,700

D:入浴料等(市へ納付) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
入浴料等納付額	0	0	0	0	0

※利用料金制のため、市への納付はない。

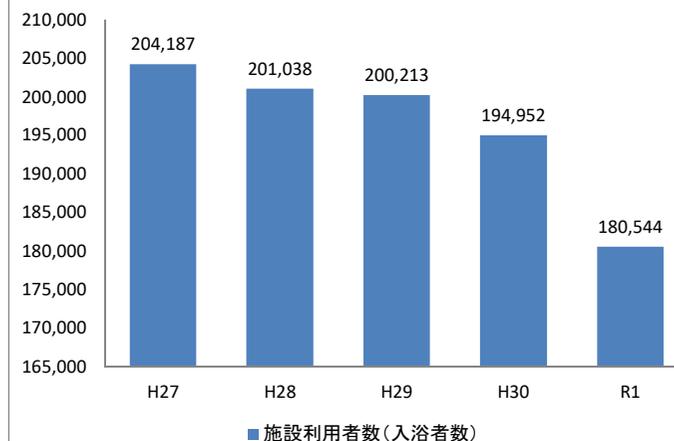
E:市直接支出額 (円)

市支出	H27	H28	H29	H30	R1
管理運営委託料	400,000	400,000	400,000	0	0
施設保守管理費	0	0	0	910,440	1,180,740
修繕料	887,760	3,102,840	3,483,288	6,636,600	4,284,088
工事費	0	0	0	0	10,098,000
工事関係委託費	0	0	0	0	0
備品費	357,480	0	0	6,672,240	459,800
計	1,645,240	3,502,840	3,883,288	14,219,280	16,022,628

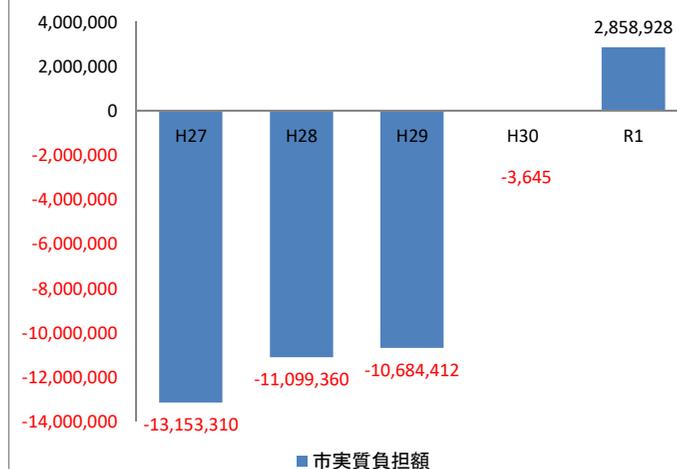
F:市実質負担額(E-C-D) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
市実質負担額	-13,153,310	-11,099,360	-10,684,412	-3,645	2,858,928

施設利用者数(入浴者数)



市実質負担額



ぽっぽの湯・ゆ〜Town (合計) 運営実績推移(H27-R1)

R2.10.30資料

R2.10.29作成

A: 利用者数 (人)

	H27	H28	H29	H30	R1
ぽっぽの湯	204,187	201,038	200,213	194,952	180,544
ゆ〜Town	138,477	139,420	137,431	91,437	122,874
計	342,664	340,458	337,644	286,389	303,418

B: 入湯税(市へ納付) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
入湯税納付額					
ぽっぽの湯	14,798,550	14,602,200	14,567,700	14,222,925	13,163,700
ゆ〜Town	10,090,000	10,177,000	10,033,000	7,510,000	8,996,000
計	24,888,550	24,779,200	24,600,700	21,732,925	22,159,700

C: 入浴料等(市へ納付) (円)

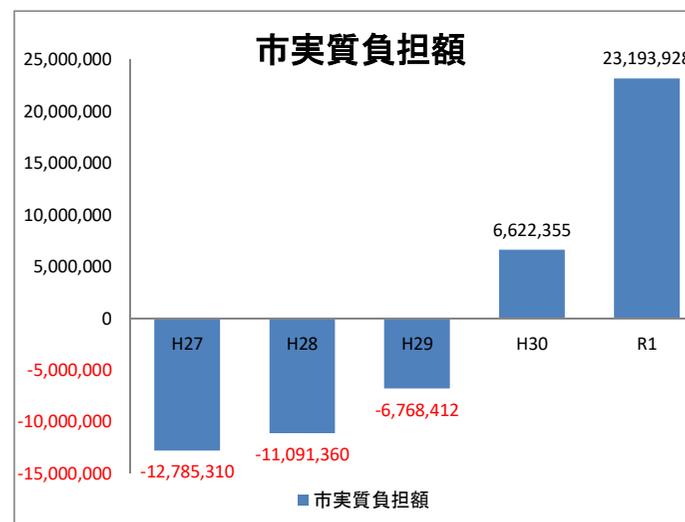
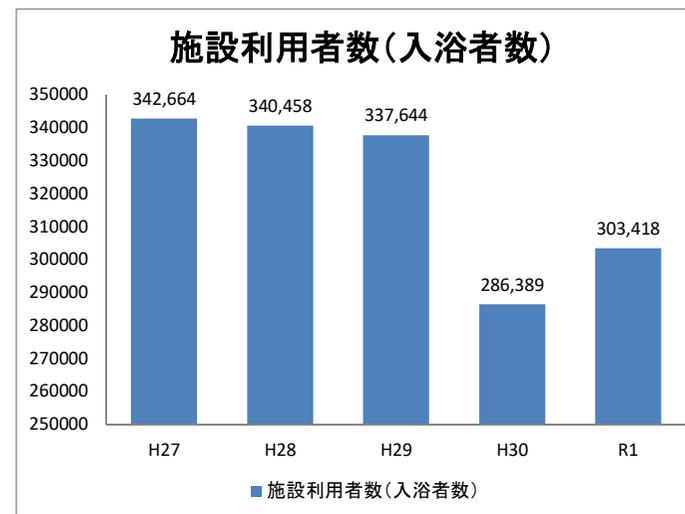
	H27	H28	H29	H30	R1
入浴料等納付額					
ぽっぽの湯・ゆ〜Town	0	0	0	0	0

D: 市直接支出額(A-B-C) (円)

市支出		H27	H28	H29	H30	R1
管理運営委託料	ぽっぽの湯	400,000	400,000	400,000	0	0
	ゆ〜Town	7,000,000	6,720,000	5,400,000	4,320,000	6,500,000
施設保守管理費	ぽっぽの湯	0	0	0	910,440	1,180,740
	ゆ〜Town	2,648,000	2,765,000	2,312,000	1,490,000	2,021,000
工事費・修繕料	ぽっぽの湯	887,760	3,102,840	3,483,288	6,636,600	14,382,088
	ゆ〜Town	810,000	700,000	5,638,000	8,326,000	9,590,000
工事関係委託費	ぽっぽの湯	0	0	0	0	0
	ゆ〜Town	0	0	599,000	0	0
備品費	ぽっぽの湯	357,480	0	0	6,672,240	459,800
	ゆ〜Town	0	0	0	0	11,220,000
計		12,103,240	13,687,840	17,832,288	28,355,280	45,353,628

F: 市実質負担額(C-A-B) (円)

	H27	H28	H29	H30	R1
市実質負担額	-12,785,310	-11,091,360	-6,768,412	6,622,355	23,193,928

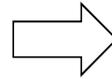


Ⅱ. 施設継続のための方策検討

【検討事項1 市の財政負担の縮減】

これまでの状況

両温泉を合算した市の財政負担額
H27年▲1,278万円 ⇒ R1年2,319万円



課題

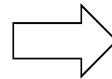
食堂等が不採算となっている
食堂等の営利目的が経営のスリム化の足かせ

[方策検討] ○温泉入浴機能に特化した運営で人件費等経費を縮減し、食堂等はテナントなど貸し付けによる運営に変更
○営利を目的としない地元密着型組織の検討及び利用料金を市の歳入に組入れ

【検討事項2 新規利用者の拡大】

これまでの状況

両温泉を合算した利用者数
H27年 34.3万人 ⇒ R1年30.3万人



課題

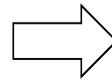
温泉の魅力向上に資する新しい付加価値づけが必要

[方策検討] ○介護・フレイル予防、健康事業の実施

【検討事項3 経営指標の設定】

これまでの状況

運営判断の指標がないまま赤字体質が続く



課題

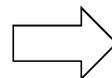
指標がないため経営への緊張感とモチベーションが不足

[方策検討] ○直営委託の廃止及び施設廃止の検討基準を設定

【検討事項4 運営責任の明確化】

これまでの状況

経営法人への行政の関与・チェックが不十分なまま運営継続



課題

経営組織と市の連携強化
市の責任ある支援体制の明確化

[方策検討] ○市内部における運営支援責任者の明確化
○市役所横断的サポート体制による経営組織との連携強化